



当院における光線力学療法の全身麻酔症例に関する研究

2013年1月1日から2022年3月31日までに当院で全身麻酔下に光線力学療法を受けた患者さん

研究協力のお願い

当科では「当院における光線力学療法の全身麻酔症例に関する研究」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2013年1月1日より2022年3月31日までに日本医科大学付属病院麻酔科・ペインクリニックにて、全身麻酔下に光線力学療法を受けられた患者さんの麻酔管理方法や術後合併症について調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただくず、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：当院における光線力学療法の全身麻酔症例に関する研究

研究期間：研究実施許可日～2027年7月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 麻酔科・ペインクリニック 井野佑佳

(2) 研究の意義、目的について

当院では、肺癌や食道癌の患者さんに対して、全身麻酔下の光線力学療法が行われています。光線力学療法とは、腫瘍集積性の高い光感受性物質を静脈内投与した後、レーザー光を病巣部位に照射することにより光化学反応を引き起こし、腫瘍組織を変性壊死させる治療法です。光線力学療法は、局所麻酔下、または全身麻酔下で行われますが、光線力学療法の全身麻酔において、麻酔方法や周術期合併症を検討した報告はまだ少ないです。本研究を行うことにより光線力学療法の全身麻酔症例の周術期の合併症、全身麻酔の影響、安全な麻酔方法や麻酔薬の選択、モニタリングの方法について明らかにすることを目的とします。そして、これらを検討することによって、報告の少ない全身麻酔での光線力学療法について、安全に麻酔管理する方法を確立することができます。

本研究は日本医科大学付属病院倫理委員会にて審査、承認を受け、同病院長の許可のもと実施されます。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2013年1月1日より2022年3月31日までに日本医科大学付属病院麻酔科・ペインクリニックにて、光線力学療法に対する全身麻酔を受けられた患者さんの診療録を用いて解析し、麻酔管理方法や周術期合併症についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、術中使用薬剤、輸液量、術後合併症等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイドダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 麻酔科・ペインクリニック 助教・医員 井野佑佳

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：27403

メールアドレス：yuka-ino@nms.ac.jp